

■ とう道マネジメントシステム

2002年（平成14年）

通信基盤設備の運用業務では、とう道内作業などの効率化、とう道内入出時のセキュリティの向上、および緊急時の迅速な対応が望まれていました。

アクセスサービスシステム研究所では、これらの要求に応えるため、とう道設備の維持管理・運用業務のBPR (Business Process Reengineering) を実現する「とう道マネジメントシステム」を開発しました(図)。とう道マネジメントシステムでは、とう道設備の維持管理から運用業務を一元的に支援するため、次の機能を実現しました。

- ①とう道内空間管理：ケーブル新設・撤去に伴う棚位置管理のシステム化により、とう道内収容能力を維持
- ②設備管理：設備データベースに基づく知的なとう道設備の補修・更改計画策定や、光ファイバセンサ機能を利用したとう道本体の構造監視を実行
- ③入出管理：Web ブラウザによる入溝申請、申請許可、とう道扉の遠隔解錠、および入溝者の位置検知などのセキュリティ機能を実現

このシステムは、2002年度上期から順次、大都市を中心に事業導入が始まりました。

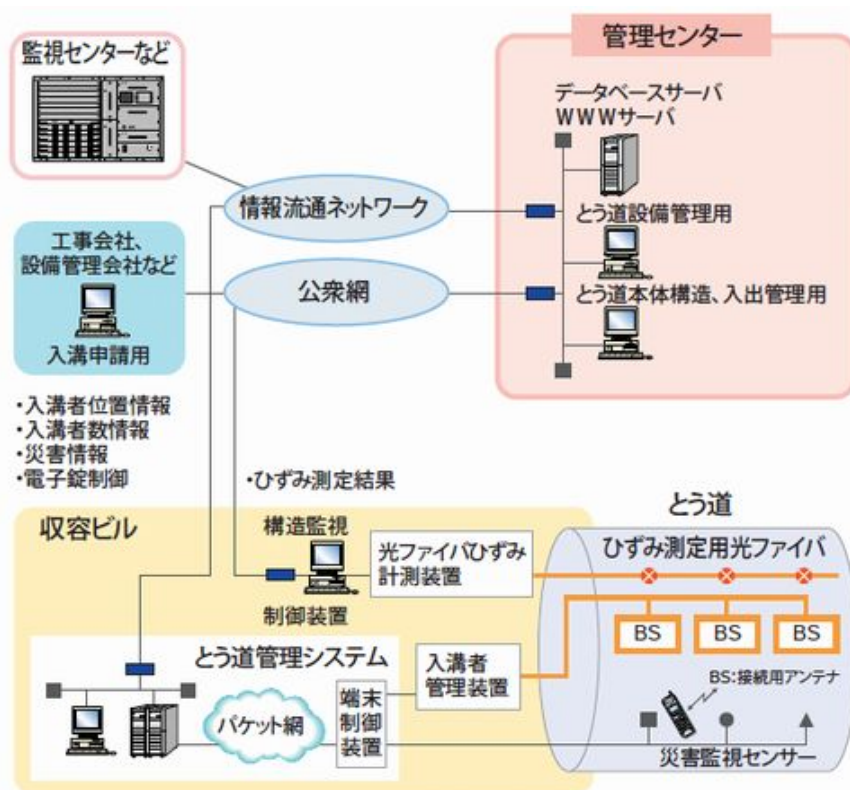


図 とう道マネジメントシステム構成